



ひまわり級

自己の生き方について考えを深め、
歩む子を目指して
～ 関わりあい・語りあい・高めあい～

各教科等

自立活動

学校教育活動

国語

言語指導

音読などを通して新たな語彙を獲得したり、様々な場面での適切な伝え方を学習したりした。また、自分の考えを文章でも表現できるようにしたことで、しっかりと言葉でも伝えられるようにした。

算数

たてわりによる関わりあい

同じ学年同士や学年を超えて関わる姿が多く見られた。その姿が相手のことを思う行動につながっている。

体育

異学年合同学習

下級生は上級生の姿を見て学び、上級生は下級生に対してコツをわかりやすく伝えるなどたてわりを活かした活動をしている。

道徳

1人1回は自己表現

低学年は、気持ちを表すカードやものさしを使って、お互いの考えを交流しやすくしている。高学年は、教師からの発問や問い返し、対話の中で考えを表現している。今後は友達の意見を受け止めて、表現できるようにしていきたい。

誕生日会

対象児童が遊びたいレクリエーションをしっかりと伝えることができた。他の児童はその考えを受け止め、一緒に遊ぶことができた。また、トラブルが起きた時も「〇〇さんが悲しむ」と言ってすぐに解決することができた。

人間関係の形成、コミュニケーション

順番やルールを守ったり、勝敗を素直に受け入れたり、友達のがんばりを認めたりすることで、良好な人間関係の形成を図った。遊びを通して、互いの個性を理解できるようにした。

校外学習(遠足)

どのような遠足がいいか、お金の使い方はどうするかなどについてみんなで話し合った。また、校外での適切な振る舞いについても感じとらせた。

はるにれフェスタ

来た人が楽しめるような活動を考えた。話し合いの中で、自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いて受け入れられたりできた。

中学校区合同レク

様々な児童がいる中、どのようなレクリエーションが適切か考えることができた。全学年が取り組むことができ、また、発達段階を意識して考えていた。

学年の目指す児童像

- ①自分の気持ちや考えを伝えられる子(表現)
- ②互いを認め合い、受け入れられる子(和)